



新緑の季節。春の陽射しの中、爽やかな風にあたりながら街を歩くと、緑に恵まれた生活が身近にあることにしみじみと幸せを感じます。

この季節、三島市では街中で様々なイベントが開催されます。5月5日の「春の大通り商店街まつり」、24日～25日の「みしま花のまちフェア」の他、楽寿園でも毎週すっかり恒例となったイベントが目白押しです。市内外からたくさんの方々が訪れ三島の魅力を満喫してくださることは市長として大きな喜びですが、それにも増して花壇や河川の手入れに労を惜しまずご協力くださる市民の皆様がいることに、心から感謝の念が沸き上がります。皆さんの温かい気持ちたちが街中に溢れ、訪れる人々を大いに癒しまちもひととも元気にしてくれているものと思います。

そんな市民の皆様健康で活気あふれる生活を送っていただけるよう、「スマートウエルネスみしま」に取り組みとして、今後3年間の重点プロジェクトに「歩ける100歳」「コミュニティデザインみしま」等6つの項目を掲げました。引き続き「つながりでつくる～健やかで幸せな“健幸”都市みしま～」を目指してまいります。

三島市長 豊岡 武士

みみサポみしま事業(難聴高齢者等一体支援事業) ～聞こえる つながる 安心生活のために～

加齢等により聴力が低下すると、コミュニケーションが困難となることから生活や社会参加の範囲が狭くなり、やがてフレイルや認知症等のリスクを高めることにもなります。

そこで、年齢を重ねても住み慣れた地域で活躍できるよう、難聴についての「啓発」や「早期発見」、受診や補聴器購入助成による「早期介入」など、難聴高齢者等を一体的に支援する事業をスタートします。日頃から「聞こえ」について学び、心配事を解消して明るく元気な生活を維持していきましょう。

◎みみサポみしま事業 スタート記念講演

「ヒアリングフレイル(聴覚機能の衰え)を予防しよう」
～知っておきたい耳寄りな話～

講師:西脇宜子先生(本橋耳鼻咽喉科医院院長)

日 時:5月21日(水) 午後2時～3時30分

会 場:三島市民生涯学習センター 3階講義室

申込み:5月9日(金)～16日(金) 長寿政策課 ☎983-2689

※参加費無料 先着140名

内 容 加齢による聴力の低下は40代から注意が必要です。家族や友人とのコミュニケーションや外出がおっくうになったりする前に、知っておきたい耳の聞こえやケアについて、耳寄りなお話や情報をお届けします。是非、ご参加ください。

◎同時開催!! 認定補聴器技能者による「聞こえの相談会」

会 場:三島市民生涯学習センター 5階第1・第2研修室

時 間:①午後1時～ ②午後1時20分～

5/21(水) ③午後1時40分～ ④午後3時40分～

⑤午後4時～ ※各回15分×4名・先着順)

市長が語る『2025 三島』より 令和 7 年度予算 編

アナ：令和 7 年度予算について、お話を伺います。令和 7 年度の予算のうち、福祉や教育をはじめとする市役所の基本的な業務に関わる一般会計予算は、483 億 5 千万円ですね。この予算を編成する上で意識したことはどのようなことでしょうか。

市長：令和 7 年度予算を「ひとり一人が輝き活気あふれるウェルビーイング推進型予算」として、市政運営の柱として掲げている「ガーデンシティ」、「スマートウェルネス」、「コミュニティづくり」の 3 つの柱を軸に、少子化対策の一環として「ハッピーマリッジ事業」などの新たな取組も加えながら、市民の皆様が魅力あるウェルビーイングな三島暮らしにより一層の誇りと愛着をもっていただけるように、今回の予算を編成しました。

アナ：「ハッピーマリッジ事業」とは具体的にはどのような取組でしょうか。

市長：喫緊の課題である少子化対策の一環として、結婚に対する多様な価値観を大前提としながら、ライフデザインセミナー事業や婚活プロモーション事業などを実施することで、若い世代の結婚・子育てに関する前向きな希望を応援するものです。

アナ：三島で結ばれ、子育てをされる若い世代の方々が増えれば、さらに活気のある三島につながっていきますね。ところで、「ハッピーマリッジ事業」以外にはどのような取組をされるのですか。

市長：その他の取組としては、長伏プール跡地周辺の再整備として、子育てしやすいまちの象徴となる大型複合遊具の設置や芝生広場の整備などを行うほか、老朽化した市営長伏グラウンド A につきまして、夜間照明設備の更新や、グラウンドへの人工芝の張替えなどを行い、安全で快適な利用環境づくりを進めます。

また、「店舗魅力アップ改修事業費補助金」により、市内中小企業の方々の店舗改修費用の一部を支援することで、店舗の魅力向上を図り、誘客につなげるほか、映画やドラマのロケ誘致の推進やインフルエンサーによる SNS を活用した情報発信、大阪万博へのブース出展など、より多くの方に三島を訪れていただくための取組を進めていきます。

さらに、国の制度開始に先立って、保育園等に通っていない生後 6 か月から 3 歳未満のお子さんを預かる「こども誰でも通園制度」の試行を行うなど、子育て環境の更なる充実を図るほか、市公式ホームページのリニューアルなどにより、市民の利便性向上にも積極的に取り組んでいきます。

三島駅南口東街区再開発事業においては、三島の宝である地下水の保全を図りつつ、再開発事業組合が実施する建築工事等を支援していくほか、大場地区の土地区画整理事業に対する支援や移住定住・企業誘致の取組なども引き続き、推進してまいります。

アナ：なるほど。私たちの暮らしを大切にしながら、未来に向けた様々な投資も行っていくことで、将来にわたって活気あふれるウェルビーイングなまちをつくっていかうということですね。

市長：その通りです。ご説明した取組は、全て市民の皆様一人一人が幸せを実感し、「三島で生まれてよかった、育ってよかった、暮らしてよかった」と思っただけのまちを実現し、希望あふれる未来につなげていくための予算と考えています。

アナ：市民の一人一人がウェルビーイングを実感し、三島で暮らしてよかったと思えるような素敵なまちになっていくことを期待しています。

ひとり一人が輝き活気あふれる ウェルビーイング推進型予算

一般会計 **483 億 5,000 万円**
(前年比7.3%増)
(福祉、教育、道路、公共施設整備等の予算)

特別会計 **307 億 6,952 万円**
(前年比3.5%増)
(国保、後期高齢者医療、介護保険、水道等の予算)

一般+特別合計 **791 億 1,952 万円**